

## 警察官の採用

警察官の採用試験で、身体検査がある。こちらは何も知らなかったの  
で、つい「洞不整脈」とかいてしまった。この不整脈は、何の症状も起  
こらず、治療の必要もない、放置しておいても問題なく、全く心臓を精  
密検査する必要もない「状態」である。これを、担当の警察官に言った  
ところ、「警察官の採用には、長距離の匍匐前進やら、強靱な体力を必要  
とするから、こちらに言うとおりに、精密検査をしろ」とはねつける。仕  
方がない、精密検査をしたが、結果は、体力テストに無関係に不採用だ  
った。

ところで、それほどの強靱な体力と精神力を要求される警察官。いろ  
んな不祥事の塊みたいなものだが、交通違反に対し、賄賂で書類を作ら  
なかった警官がいて、「日本も外国並みになったか」と一瞬、「喜んだ。」  
結局つかまりよったけど、そういう小さなことには反応するが、大きな  
悪事は表に出てこない。事件の証拠品を捨ててしまったり、外から見れ  
ば、まあ、**緊張感のない職場です**。痴漢の冤罪も警察官の思い込みが大き  
い。それはともかく、「強靱な体力で、採用試験に通った」現役の警察官  
が、ドーベルマンに追いかけて逃げ回り、結局一般人 2 人が噛まれ  
た。そらまあ、匍匐前進と犬との格闘とは関係ないかもしれないが、警  
棒も持っている。いざとなれば、拳銃も持っている。そういう「正義の味  
方」が犬ごときで逃げ回るなよ。被害者が出なければ、ボクも書かないが、  
現実に被害者がいる。この警察官は心臓に問題のなかった警官やねんや  
ろ。まったく、みっともない。さらには、若い女の子を襲う、など、体  
力どころか、人格を採用試験に取り入れるべきでしょうが。

2015.08.17.